



NPO法人化で意欲を見せる大原さん(左から2番目)ら専従スタッフ

道医療大生らのボランティア
「当別町青少年活動センター」

NPO法人に認証

放課後、障害児一時預かり

【当別】道医療大の学生らによる福祉ボランティア組織「当別町青少年活動センターゆうゆう24」がこのほど、特定非営利活動法人(NPO法人)として道から認証を受けた。本通商店街の空き店舗を利用した事務所には同大を卒業・修了した専従スタッフが常駐し、活動をさらに発展させようと張り切っている。

(山本忠彦)

専従スタッフ常駐で業務拡大へ

同センターは二〇〇二で一時的に預かるサービ
年五月に発足。町内には
放課後に障害児を受け入
れる施設が少ないことが
ら、保護者に急用ができ
た場合、障害児を事務所

書院を受け入れた。事務
所は地域の子供たちにも
開放され、障害児と健常
児の交流の場としても好
評だった。

NPO法人化は、組織
にも対応可能になった。

今後は障害児の一時預か
りに加え、障害者への家
事援助、身体介助といっ
たサービスに二十四時間
態勢で応えていく考え。
三年前の開業から同セ
ンターの活動に携わって
きた大原代表は「大学生
のマンパワーを最大限に
活用し、当別に障害者や
高齢者が安心して生活で
きる仕組みをつくりたい」と話している。
現在、事務所(木造二
階建て延べ約百八十平方
米)を改装中で、喫茶コ
ーナーを設け、町民の交
流の場にも活用する予定
だ。十六日午前十一時か
ら、事務所の開所式を行
う。ボランティアの問い
合わせは同センター ☎0
1333・233・1909
へ。

1333・233・1909